

三遠南信自動車道 飯喬道路

平成31年度に天龍峡IC～龍江IC(仮称)が開通

1. 背景

三遠南信自動車道は、長野県飯田市から静岡県浜松市に至る延長約100kmの高規格幹線道路です。本事業は、新東名高速道路と中央自動車道をつなぎ、広域ネットワークを構築するとともに、災害に強い道路機能の確保、救急医療活動の支援、地域活性化の支援を目的として計画された道です。

2. 概要

飯喬道路 飯田山本IC～喬木IC間約22kmのうち、天龍峡IC～龍江IC(仮称)の区間約4kmについて、当該区間で計画している「天龍峡大橋(仮称)」が名勝天龍峡を通過することから、関係機関との協議を進めてきたところです。今般、関係機関との調整が整ったことから、平成31年度に開通する見通しとなりました。

3. 三遠南信自動車道の開通により期待される効果

- 土砂災害危険箇所・事前通行規制を回避
- 周辺の産業団地の活性化や龍江IC(仮称)付近に新産業団地が計画

◎今回の公表により、飯喬道路約22kmのうち、約15km(約7割)で開通見通しが確定または開通済みとなります。

4. 資料配付先

長野県会見場、飯田市役所記者クラブ

5. 問い合わせ先

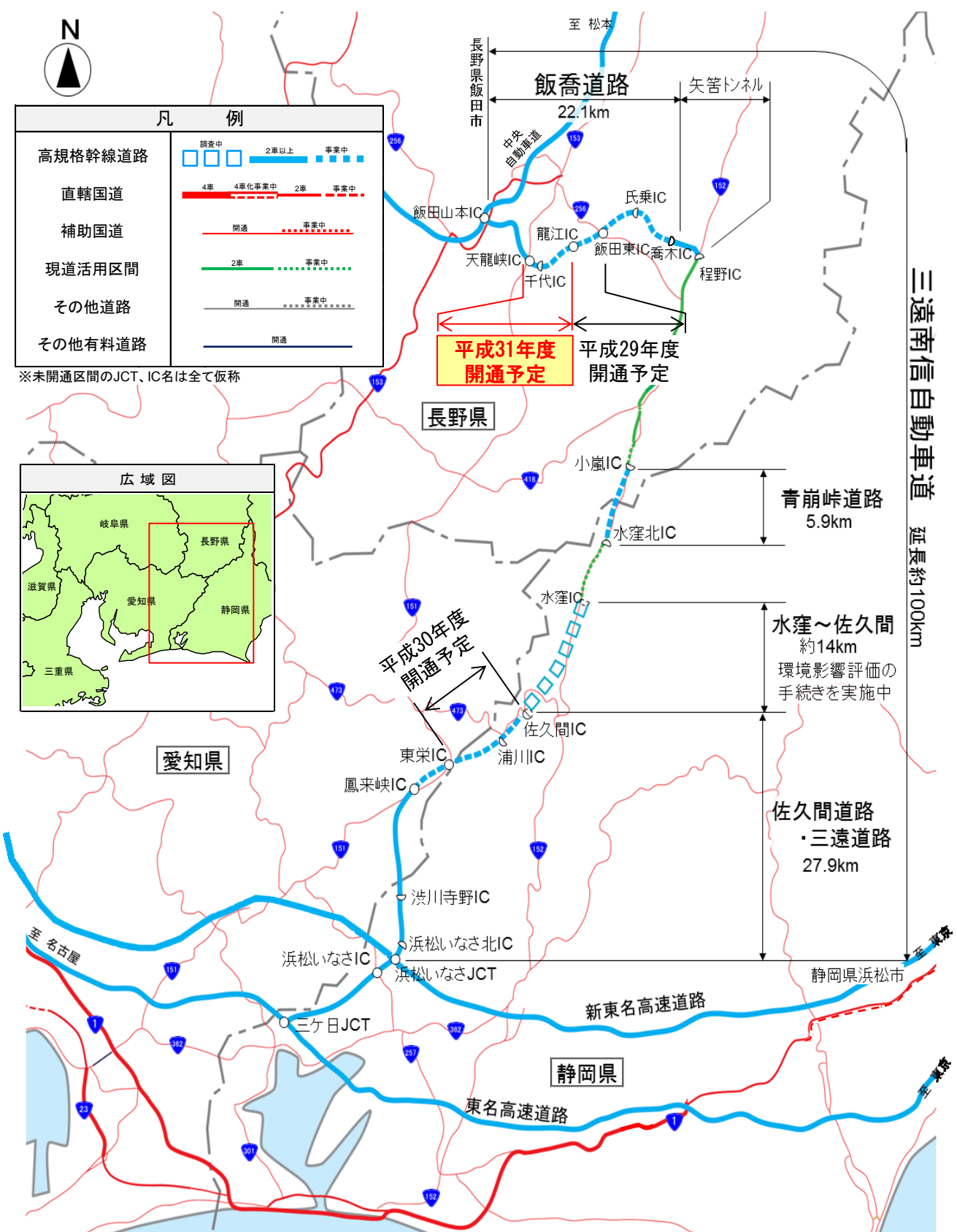
国土交通省中部地方整備局飯田国道事務所

副所長 ふたむら たかゆき 二村 隆之

計画課長 おかもと ゆうじ 岡本 由仁

TEL:0265-53-7200 FAX:0265-53-7210

三遠南信自動車道 飯喬道路(天龍峡IC~龍江IC(仮称))の概要



※本開通の見通しは、標準的な工程を想定した場合の目安であり、今後の予算状況や施工上の条件変化等により、変更がありますのでご留意ください。

三遠南信自動車道のストック効果

土砂災害危険箇所・事前通行規制を回避！

- 県境付近は事前通行規制区間が多く、災害時に連絡できる道路が脆弱
- 三遠南信自動車道の整備により、地域間を結ぶ交通軸が形成され、災害に強い道路の整備により広域防災ネットワークが構築

■ 三遠南信自動車道沿線の土砂災害危険箇所・事前通行規制区間



< 並行現道の事前通行規制頻度及び被災状況 >

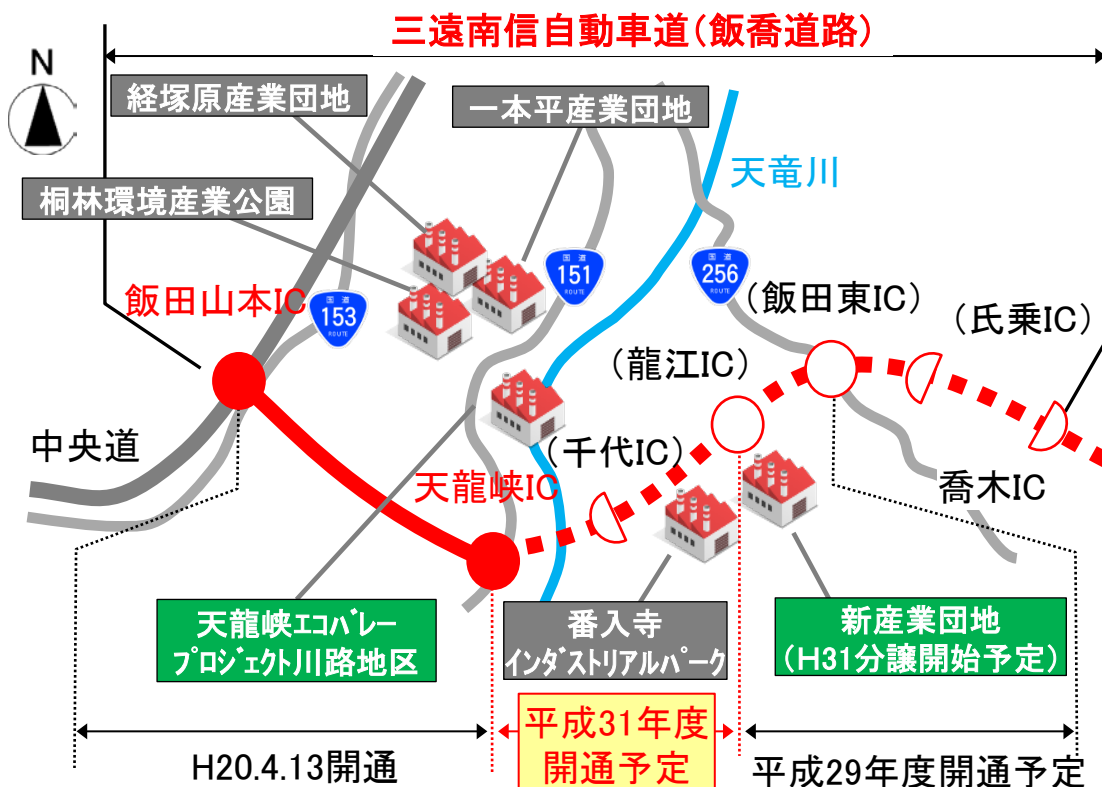
- H22.7 国道418号天龍村折立付近にて、路肩決壊により通行止め。(7ヶ月間片側交互通行規制)
- H27.3 県道上飯田線喬木村氏乗付近にて、法面崩壊により通行止め。
- H27.4 国道152号飯田市南信濃にて、土砂崩落により通行止め。開通前の小道木BPを迂回路とした。

三遠南信自動車道(飯喬道路)のストック効果

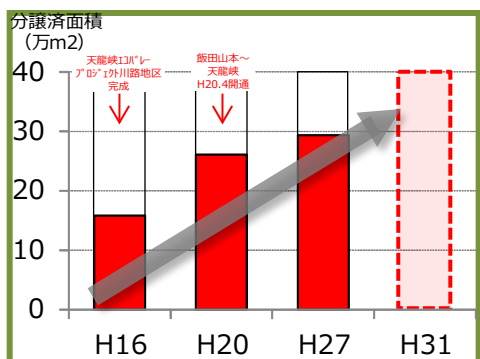
生産性向上による成長力の強化！！

- 三遠南信自動車道一部開通に伴い、**IC近隣**の工業団地では、**企業立地が促進**
- 平成31年には**龍江IC付近に新産業団地の分譲が開始**
- 天龍峡IC～飯田東IC(仮称)の開通により、龍江IC(仮称)付近に計画されている新産業団地へは**中央道からアクセスできる**ようになります

■三遠南信自動車道(飯喬道路)沿線の企業立地状況



写真：H28.9撮影



出典：飯田市